

令和7年度 早池峰山植生保護柵を設置しました。

花巻市・遠野市・宮古市にまたがる早池峰山（標高 1,917m）の高山植物をニホンジカの食害から守るため、岩手南部森林管理署遠野支署では、平成 28 年 5 月に発生した崩落の影響で閉鎖している河原の坊登山道沿いに、植生保護柵を全 3 箇所（総延長 250m）設置しています。

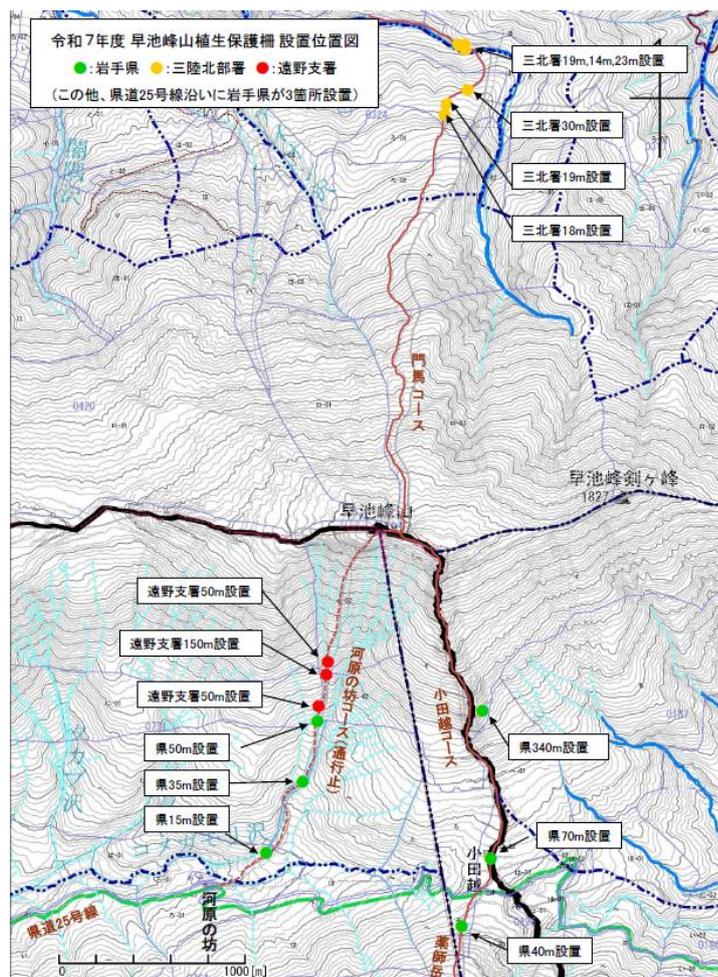
早池峰地域保全対策事業推進協議会との協議を経て、遠野支署管内に平成 30 年度から試験的に設置しました。令和 2 年度には「早池峰国定公園内の国有林野における防鹿柵（植生保護柵）の設置に関する協定書」を岩手県、三陸北部森林管理署、遠野支署の 3 者で締結し、早池峰山各登山道（河原の坊コース、小田越コース、門馬コース）沿いに植生保護柵を設置しております。

遠野支署では毎年、春に柵を設置し、秋に柵を格納する作業を繰り返しています。

今年度の柵設置は、5月28日（水）に職員7名で行いました。

河原の坊駐車場からゆっくり歩き、2時間45分で1,400m付近に設置している柵に到着。

山頂付近に残雪がありましたが、柵設置箇所は若干肌寒い程度で、スムーズに柵設置作業を終えることができました。 今後は、遠野支署で雇用している森林保護員による巡視活動のなかで、月1回は柵の状態を点検し、不具合があった際は補修等行っていきたいと考えております。



（報告： 総括森林整備官 昆野）